

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	農業関係試験研究推進事業	部局 農政部 実施期間 不明 ~	課・室 農業技術課 E-mail nogi @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- 農業を取り巻く社会情勢の変化により、良質多収の水稻や労力を軽減できるりんごなどの品種、高単価が狙える野菜の作型など、農作物の品種や栽培管理技術に新たなニーズが生まれている。
- 地球温暖化（長野市の年平均気温：1889年～2020年の間に1.27°C/100年の割合で上昇）により、農作物の生育、品質、収量などに影響が出ている。また、春先の気温上昇（長野市3月平均気温：1991～2000年平均3.9°C ⇒ 2011年～2020年平均4.8°C）により生育が前進し、凍霜害のリスクが高まっている。
- 社会のグローバル化やインターネット等の情報技術の発展により、例えば商標の無断使用や、種苗の違法流通など、国内外における権利違反等のリスクが高まるとともに、マーケティング活動等の戦略的な展開も重要となっている。
- これらの社会背景に合致し、生産現場等に大きな変化をもたらす新たな品種・生産技術や、温室効果ガスの削減につながる技術を早期に開発していく必要がある。また、農業分野の知的財産の保護・活用を図る必要がある。

2 事業目的

- 農業者が収益性や生産性の高い農業を展開できるよう、生産現場が抱えている課題（農産物の高品質化や収量増、環境変化による生育障害への対策など）を解決できる品種や栽培管理技術を新たに開発する。
- 農業者がブランド力の高い農産物を安心して生産できるよう、農業分野における知的財産の保護・活用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①生産力を強化し収益性を高めるための品種・技術開発

- 【拡】病害や気候変動に強く、高収量、労力軽減といった農業者や消費者が要望する新品種の開発のため、DNAマーカー等の新たな手法などにより効率的な選抜や特性評価を実施（水稻：良質良食味で多収の系統、りんご：自家摘果性や病害抵抗性の系統）
- 先進技術により生産現場での課題解決を図るため、省力で効果的な病害虫・雑草防除技術や施肥技術、AIを活用した省力化・生産性の向上技術等の開発を推進



着色の優れるりんごの特性調査

②地球環境に配慮し持続可能な農業を実現するための技術開発

- 気候変動下においても安定した産地を維持するため、農畜産物の生育、生産量、品質、病害虫発生等に及ぼす影響を評価し、それに対する適応技術の開発を推進
- 農業生産における環境負荷を低減するため、温室効果ガス削減（ゼロカーボン）に向けた農業由来の温室効果ガス削減技術や省エネルギー技術などの開発を推進
- 有機農業にも活用できる環境にやさしい農業の展開のため、総合的病害虫・雑草管理技術による防除技術、堆肥や緑肥の活用による化学肥料低減技術などの開発を推進

③農業分野の知的財産の保護・活用

- 【拡】知的財産の保護と活用による県農産物ブランド力の強化のため、海外展開も視野に入れた県オリジナル品種の国内外での品種登録や商標登録、利用許諾等を実施（シナノゴールドの海外許諾に関する事務）
- 知的財産権への理解を深めるため、研修会等を通じた啓発とともに、国や関係機関と連携し、権利侵害への対応を適切に実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由		
			実績	実績	推移		見込	推移					
①	新しく普及に移す農業技術数	課題	78	85	↗		80	↘	85	△	第4期長野県食と農業農村振興計画に基づき、現場で活用を図るために実用化した農業技術の課題数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は85課題とする。		
②	地球環境に対応した新たな農業技術数	課題	6	6	→		6	→	6	△	試験研究推進計画に基づき、地球温暖化への適応策及びゼロカーボンに寄与する緩和策に関する農業技術の課題数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は6課題とする。		
③	知的財産保護に関する県主催研修会の開催数	回数	5	3	↘		2	↘	3	△	信州農産物知的財産活性化戦略に基づき、知的財産における啓発活動に関する研修会の開催回数を目標値として設定。近年の実績を踏まえR8年度は3回とする。		

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値		
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出										
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,346	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分		予算額					決算額	職員数
		前年度継越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	2月上旬公表予定			0	0		164.0
	要求	549,956			549,956	219,464		
R7年度		0	478,013	0	478,013	180,426		164.0
R6年度		0	481,035	△ 66,542	414,493	171,300	395,502	164.0

事業番号	09 03 05	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■ 当初要求 □ 当初予算案 □ 補正予算案 □ 点検
事業名	農業関係試験研究推進事業	部局	農政部 課・室 農業技術課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	運営費	94,753 千円	101,950 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 137,963 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験場の運営・施設管理	直接	農業関係試験場における庁舎施設の維持管理のため、老朽化した設備等の修繕や改修工事などを実施 試験場施設の修繕や工事等の項目数：6 ①試験場敷地内の樹木伐採（2か所） ②電話交換機の更新工事（1か所） ③受水槽室塗装工事（1か所） ④庁舎のエアコン設置工事（2か所） ⑤車庫の屋根撤去工事（1か所） ⑥温室電灯幹線設備工事（1か所）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	整備事業費	11,038 千円	11,041 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 11,042 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験研究に必要な機材類の更新・導入	直接	試験研究を効率的に進めるため、データ取得や栽培管理などに必要な機材等の更新や導入を実施 試験研究にわける機材等の更新・導入数：10 ・果樹の葉剤散布を行う「スピードスプレイヤー」の導入 ・果樹の食害を防止するための「防鳥網」の修繕 ・普通作物の発芽試験等に使用する「低温恒温器」の導入 ・野菜の栽培管理を行うための「うね立て専用管理機」の導入 他 6 機材	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	研究推進費	12,832 千円	13,038 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 14,254 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	試験研究の効率的な推進	直接	試験研究の適切なテーマ設定及び人材の育成等を図るため、外部有識者との意見交換及び研究職員の短期研修への派遣を実施 外部有識者と試験研究推進に係る意見交換会を開催：1回 農林水産省が開催するキャリア別短期集合研修への職員派遣：3名以上	
2	知的財産の保護・活用	直接	【拡】試験場で開発した知的財産の活用や権利保護を行うため、啓発活動や海外での商標取得に必要な業務の委託などを実施 知的財産保護に関する研修会を開催：1回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	素材開発研究費	157,119 千円	160,191 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 166,655 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	生産現場のニーズに応えるための技術開発	直接	県内生産現場におけるニーズに応えつつ将来応用技術に繋げるため、基礎的な知見を集積した技術開発を実施 研究に取り組む課題数：73	

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	県単プロジェクト研究費		25,848 千円	23,957 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 36,224 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	生産現場の緊急要望へ対応するための技術開発	直接	【拡】県内生産現場における緊急的な要望に応えるため、概ね3年程度の短期間で集中的な技術開発を実施 研究に取り組む課題数：16		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	高度化等開発研究費		98,170 千円	84,039 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 95,407 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農水省の競争的資金等を活用し、国の研究機関や大学等と連携した技術開発	直接 委託	県内外の生産現場における広域的な重要課題を解決するため、国の研究機関や大学等と連携し、農水省の競争的資金等を活用した技術開発を実施 研究に取り組む課題数：38		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	新資材試験等協力研究費		81,275 千円	83,797 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 88,411 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	民間企業や団体等からの受託試験等	直接 委託	国や民間企業、団体等が開発した研究成果に関する現場への適応性を判断するため、農業や生産資材等の受託試験を実施 研究に取り組む課題数：19		